

## 読谷村新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

施設 (事業)	読谷村地域学校協働活動推進事業 「ボランティア養成講座」	担当課	生涯学習課(生涯学習係)
		連絡先	内線 172
<b>1 基本チェックリスト</b>			
■	職員の就業前の体温測定	■	職員の手指消毒の徹底
■	職員のマスクの着用	■	入口及び施設内の手指の消毒設備の設置
■	利用者に対するマスク着用お願い周知		
<b>2 基本的な感染拡大防止策</b>			
(1)感染拡大防止のための入場者整理の方法	①密にならないための対策	密閉・・・使用前後に出入口や窓を開け定期的に換気を行う。 密集・・・施設利用者(職員・講師含む)最大 23 名とする。 密接・・・受講者同士の距離を最低 1m(できるだけ 2mを目安に)確保する。	
	②発熱等の症状のある方の入場制限方法	・発熱 37.5℃以上の方や風邪症状(咳・鼻水)のある方については、受講をお断りする。	
	③その他	・手洗い消毒 ・受講者チェックリストの全項目☑ ある方のみ受講できる。	
(2)対人距離の確保の方法	①接触感染対策	・配布物等の手渡しは行わない。	
	②飛沫感染対策	・マスク着用・咳エチケットの注意喚起を行う。 ・座席配置をできるだけ1mを目安に間隔をあける。 ・受付には飛沫感染防止カバーを立てる。	
(3)施設の換気対策	・窓や出入口を開け定期的に換気対策を徹底する。 ・空調利用時は 30 分ごとに窓を開けて換気する。		
(4)施設・設備・物品等の消毒対策	・施設利用前後にテーブル・イスの背もたれ・ドアノブ・電気スイッチ・電話などの消毒を職員で行う。 ・備品(マイク・ホワイトボード・プロジェクター等)利用前後には消毒を行う。		
(5)その他基本的な感染拡大防止策	・受講者はゴミ等は持ち帰るよう促す。 ・受講者の氏名及び緊急連絡先を把握するため、名簿を作成する。また、個人情報が必要なに応じて保健所等の公共機関へ提出することに同意を得る。		
<b>3 独自の感染予防対策</b>			
・講座室Aで人数制限(職員・講師含む)23 名までとする。 ・利用時間を 1 時間半にする。 ・文化センターガイドラインに沿って、読谷村地域学校協働活動推進事業「ボランティア養成講座」のガイドラインのもと開講する。			
<b>4 再開時期</b>			
令和 3 年 7 月 14 日・16 日・26 日(3 回)			